

オクラ出番 品質は上々

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢管内で、夏の健康野菜として親しまれるオクラの出荷が始まっている。7月上旬には、JA伊勢玉城集出荷場でオクラの目ざろえ会を開いた。高品質出荷に向け、生産者ら

の意思統一を図るのが目的。

目ざろえ会では、J



オクラの出荷規格を確認する生産者

A全農みえやJAの担当者から、市場情勢や出荷時の注意点などの説明を受けた後、実際に手に取りながら出荷規格と品位基準を確認した。

JAの担当者は「本年度産は、天候に恵まれたことから順調に生育が進んだ。品質も上々で、例年並みの出荷量が期待できる。生産

者一人一人が高品質出荷に努め、他産地に負けないようにしたい」と話す。

JA管内では、伊勢度会地区と鳥羽志摩地区の約30戸の生産者が約50㌥でオクラを栽培。JAオリジナルブランド「伊勢やさい」の一つとして、10月上旬まで県内市場へ出荷される。